

令和7年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月16日（水） 14時～15時30分まで
- 2 開催場所 清竜中学校 多目的室
- 3 出席委員 大角史和、藤井信男、内藤留美子、阿藏直子、森下伸弘、吉林彦吉、中村茜
- 4 欠席委員 鈴木省吾、大石真理子
- 5 学校支援コーディネーター 野口めぐみ
- 6 学 校 褐田 稔（校長）、嶋田喜守（教頭）、中村栄里（CS担当）、渡邊理保（CSディレクター）
- 7 教育委員会 教育総務課
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 渡邊理保
- 10 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、阿藏直子委員を推挙する旨の発言があり全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
・浜松市立清竜中学校 校則の見直しについて
- 12 会議記録
・司会の 嶋田喜守 教頭から、委員総数10名のうち8名の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。
・前回会議録確認
議長の指示により、嶋田喜守 教頭から資料に基づき説明があった。
・浜松市立清竜中学校 校則の見直しについて
議長の指示により、清竜中生徒会担当矢部教諭と生活委員担当福田教諭から資料に基づき説明があり、生徒会本部・生活委員の生徒から校則の見直し案について説明を行った。その後、2グループに分かれて熟議を行った。

生徒会本部 服装や制服についての見直し案

生活委員 登下校中の服装についての見直し案

第1グループ（阿藏委員、大角委員、内藤委員、森下委員）

- ・生徒会の服装や制服の在り方についてはおおむね生徒会長が説明してくれた案でよいと考える。
- ・靴が黒色だと汚れが目立たなくてよいと考える。
- ・髪型については、先生方と生徒の基準があいまいになりがちである。その基準を先生と生徒でそろえてみてはどうか。
- ・ハンディ扇風機の導入については、再度考えてもらいたい。登下校中だけでなく、授業中での使用、管理など様々な問題点が考えられる。その点も踏まえて生徒会、先生と協議をしてもらいたい。
- ・登下校中の日傘の使用についても検討してもらいたい。日傘が他の生徒に当たる危険性が潜んでいる。さらに、日傘をさして登校する際に、他の通行人の妨げにもつながるので、できれば禁止としてほしい。
- ・制服やバッグの形状など他の点でも検討してみてはどうか。

第2グループ（藤井委員、吉林委員、野口委員、中村委員）

- ・時代とともに考え方は変化してくるので、今の状況に併せて見直していくことはよいと考える。
- ・生徒会のアンケート結果を見る限り、校則の見直しをしなくてもよいのではないかと感じてしまう。しかし、見直してほしい生徒の意見を共有することで考えが変わることもあるので、このアンケート結果を生徒に示したうえで、アンケートの質問紙も変更しながらアンケートをとることも大事ではないか。
- ・普段登校に使用している靴をどれくらいの頻度で洗っているのか。また、制服の下に体操服を着るのはどうだろうか。下着ではないので、暑さ対策の視点で考えても適当ではないと考える。しかし、更衣室が整備されていないため、現状では難しいのも理解できる。もし、更衣室が整備されるのであれば、代わりのシャツやポロシャツなどを着られるようにするのもよいのではないか。汗をかいた時に代替えで着替えられるようにしてよいと考える。
- ・保護者目線で考えると、靴や靴下の色を黒や紺を認めてもらえると洗濯する手間も軽減されるためありがたい。

その他報告事項等

- ・司会から、第3回学校運営協議会の開催日程の報告があった。

令和7年 11月25日(火) 14時～

- ・熟議の内容「土日の部活動の地域移行について」